

避難所開設体験

避難所で使用されることの多い段ボールベッド、段ボールトイレなどを実際に組み立てたり、非常持ち出し袋、非常食セットの内容を確認したりする。

活動のねらい

避難所で使用される物品を組み立てたり使用したりすることで、その使用感を実際に感じる。
非常持ち出し袋や非常食の中身を知ること、普段から備えることの大切さを知る。

活動可能人数	150人程度まで	活動・季節条件	通年
所要時間	2.5時間程度	主な対象	中学生以上
実施場所	体育館	グループの人数	8人～10人
活動形態	指導依頼活動（指導員の説明、指導が入る活動）		

活動内容

- (1) 避難所についての説明を聞く。(15分)
- (2) 体育館を避難所と想定して用具の準備をする。(45分)
 - ・段ボールベッド ・段ボールトイレ ・カプセルテント ・間仕切り
- (3) 非常持ち出し袋や非常食セットの内容や使い方について説明を聞く。(30分)
 - ※非常食セット内にある食品の試食も可能です。
- (4) 避難所を作ってみての感想をグループごとに発表しあう。(20分)
 - ・自分たちの学校が避難所になった場合
 - ・避難所に持っていったほうがいいと思う物
 - ・他の避難者への配慮対応 など
- (5) 体験の感想を交流する。(10分程度)
- (6) 後片付け(30分程度)



準備物

野外活動センターで準備するもの

段ボールベッド20個	段ボールトイレ5個	カプセルテント15個
卓球フェンス等	非常持ち出し袋20個	非常食セットなど

利用者または団体で準備するもの

筆記用具

指導上の留意点

体育館で実施します。15グループまで実施可能です。

備考

準備物や非常食の試食などについては、事前にご相談ください。